

組み込みシステム開発セミナー

「組み込み」とは、家電製品やカーナビ、人工衛星などの機器の制御部分をハードウェア（電子回路）でなく主にソフトウェア（プログラム）で実装する仕組みのことであり、その方式でシステムを開発することで開発コストの削減や製品の高機能化・低コスト化などのメリットがあります。

現在では、電化製品や自動車など様々な製品が「組み込み」で開発されており、今後も組み込みシステムの開発技術者の需要は高まっていくと考えられます。この機会にぜひ、組み込みシステムの実践的な開発技術を学んでみませんか。



※1
「μTeaboard」

目的： 組み込み分野における「ものづくり」のためのスキルを習得

目標：

- 組み込みシステム※2の開発にはどのような知識と技術が必要かを理解できる
- 実際の組み込み製品（防犯監視警報装置）の開発工程を体験できる

日時： 平成25年2月28日（木）～3月1日（金）
10:00～17:30

場所： 合同棟 6階ハードウェア実験室

対象： 本学科の学部3年生以上， 大学院生， 教職員

人数： 20名※3

参加費： 無料

講師： パーソナルメディア（株）講師



※1 開発環境として「μTeaboard」という組み込み機器を取り扱います。

これは、本年度（平成24年度前期）の計算機システム実験で使用したものです。

※2 本年度の計算機システム実験を受講していない方がセミナーの受講を希望する場合には、受講前に「μTeaboard」の操作を練習して頂きます。（1～2時間程度）
「μTeaboard」の操作練習の実施方法につきましては、対象者に追って連絡します。

※3 受講希望者多数の場合は工房により選考いたします。

問合せ、参加希望者は

知的システム開発工房事務局 松井・三浦（大学院棟（合同棟）6階）

csis2-office@oita-u.ac.jpまで学籍番号と氏名・連絡先を明記してお申込み下さい。

（締切2月1日（金）まで）